



2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2024年11月12日

上場会社名 ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社 上場取引所 東
コード番号 3765 URL <https://www.gungho.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 森下 一喜
問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO財務経理本部長 (氏名) 坂井 一也 (TEL) 03-6895-1650
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年12月期第3四半期の連結業績(2024年1月1日~2024年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する四半期純利益 | |
|----------------|--------|-------|--------|-------|--------|-------|------------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 76,484 | △21.8 | 15,822 | △32.8 | 17,247 | △31.0 | 9,691 | △29.0 |
| 2023年12月期第3四半期 | 97,849 | 35.0 | 23,560 | 18.4 | 25,004 | 15.2 | 13,659 | 5.6 |

(注) 包括利益 2024年12月期第3四半期 12,445百万円(△39.8%) 2023年12月期第3四半期 20,684百万円(36.4%)

| | 1株当たり 四半期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益 |
|----------------|-----------------|----------------------------|
| | 円 銭 | 円 銭 |
| 2024年12月期第3四半期 | 160.99 | 159.32 |
| 2023年12月期第3四半期 | 226.14 | 224.18 |

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 |
|----------------|---------|---------|--------|
| | 百万円 | 百万円 | % |
| 2024年12月期第3四半期 | 166,323 | 150,437 | 75.4 |
| 2023年12月期 | 168,045 | 149,495 | 75.9 |

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 125,471百万円 2023年12月期 127,463百万円

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | |
|---------------|--------|--------|--------|-------|-------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 |
| | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 | 円 銭 |
| 2023年12月期 | — | 0.00 | — | 30.00 | 30.00 |
| 2024年12月期 | — | 0.00 | — | — | — |
| 2024年12月期(予想) | — | — | — | — | — |

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想(2024年1月1日~2024年12月31日)

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|-------------|-------------|-------------|-------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2024年12月期3Q | 83,161,416株 | 2023年12月期 | 87,255,916株 |
| ② 期末自己株式数 | 2024年12月期3Q | 27,352,122株 | 2023年12月期 | 27,357,153株 |
| ③ 期中平均株式数（四半期累計） | 2024年12月期3Q | 60,201,227株 | 2023年12月期3Q | 60,402,830株 |

- ※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 有（任意）

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- ・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
- ・当社は、以下のとおり投資家向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用した資料等については、開催後当社ホームページで掲載する予定です。
- ・2024年11月12日（火）・・・機関投資家・アナリスト向け決算説明会

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|---|
| 1. 当四半期決算に関する定性的情報 | 2 |
| (1) 経営成績に関する説明 | 2 |
| (2) 財政状態に関する説明 | 2 |
| (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 | 2 |
| 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 | 3 |
| (1) 四半期連結貸借対照表 | 3 |
| (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 | 4 |
| 四半期連結損益計算書 | 4 |
| 四半期連結包括利益計算書 | 5 |
| (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 | 6 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 6 |
| (株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) | 6 |
| (セグメント情報等) | 6 |
| (四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記) | 6 |
| (重要な後発事象) | 6 |
| 独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書 | |

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当四半期における経済環境については、物価高騰や為替相場の変動、不安定な国際情勢などにより、依然として先行き不透明な状況が継続しました。ゲーム市場においては、国内のモバイルゲーム市場が依然として一定規模を維持しているものの、スマートフォンユーザーの余暇の使い方は、動画コンテンツをはじめとする多様化が進んでいます。

このような状況の中、当社では引き続きグローバル配信を見据えたゲーム開発に注力するとともに、既存タイトルの価値最大化を図るため各ゲームのMAU（Monthly Active User：月に1回以上ゲームにログインしている利用者）の維持・拡大やゲームブランドの強化に取り組んでまいりました。

「パズル&ドラゴンズ」（以下「パズドラ」）に関しましては、引き続きより多くの皆さまに「パズドラ」を長期的にお楽しみいただくため、新ダンジョンの追加をはじめとする継続的なアップデートとともに、他社有名キャラクターとのコラボレーションを含む、イベントの開催等の取り組みを継続してまいりました。

また、国内のラグナロク関連タイトルにつきましては、「ラグナロクオンライン」をはじめとするサービス提供中のタイトルにおいて、イベントの開催やアップデートを継続的に実施したほか、新たに「ラグナロクX」の日本国内におけるサービス提供決定を発表、事前登録を開始いたしました。

子会社Gravity Co.,Ltd.及びその連結子会社が運営しているRagnarok関連タイトルに関しましては、2024年9月9日に韓国において「The Ragnarok」、2024年9月13日に中国において「Ragnarok X」の配信を開始、加えて既存タイトルにつきましてもアップデートやイベントの開催を継続的に実施することにより、引き続き連結業績に寄与しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は76,484百万円（前年同期比21.8%減）、営業利益15,822百万円（前年同期比32.8%減）、経常利益17,247百万円（前年同期比31.0%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益9,691百万円（前年同期比29.0%減）となりました。

なお、当社グループは単一セグメントであるため、セグメント情報に関連付けて記載しておりません。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間における資産合計は、166,323百万円（前連結会計年度末比1,721百万円減少）となりました。これは主に売掛金及び契約資産が減少したことによるものであります。

負債合計は、15,885百万円（前連結会計年度末比2,664百万円減少）となりました。これは主に法人税等を支払った結果、未払法人税等が減少したことによります。

純資産合計は、150,437百万円（前連結会計年度末比942百万円増加）となりました。これは主に、非支配株主持分が増加したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当社グループは、コンテンツ関連の新規性の高い事業を展開しており、短期的な事業環境の変化が激しいことなどから、業績の見通しにつきましては適正かつ合理的な数値の算出が困難であるため、四半期ごとに実施する決算業績及び事業の概況のタイムリーな開示に努め、通期の連結業績予想については開示しない方針です。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

| | 前連結会計年度 (2023年12月31日) | 当第3四半期連結会計期間 (2024年9月30日) |
|---------------|--------------------------|------------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 136,198 | 95,574 |
| 売掛金及び契約資産 | 13,379 | 10,764 |
| 有価証券 | 3,835 | 4,542 |
| その他 | 2,622 | 3,067 |
| 貸倒引当金 | △69 | △60 |
| 流動資産合計 | 155,967 | 113,889 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | 1,240 | 901 |
| 無形固定資産 | 502 | 436 |
| 投資その他の資産 | | |
| 長期性預金 | — | 40,000 |
| その他 | 10,334 | 11,096 |
| 投資その他の資産合計 | 10,334 | 51,096 |
| 固定資産合計 | 12,077 | 52,434 |
| 資産合計 | 168,045 | 166,323 |
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 買掛金 | 5,616 | 4,980 |
| 未払法人税等 | 2,913 | 1,699 |
| 引当金 | 139 | 78 |
| その他 | 8,824 | 8,089 |
| 流動負債合計 | 17,493 | 14,848 |
| 固定負債 | | |
| 退職給付に係る負債 | 10 | 14 |
| その他 | 1,046 | 1,022 |
| 固定負債合計 | 1,056 | 1,037 |
| 負債合計 | 18,550 | 15,885 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 5,338 | 5,338 |
| 資本剰余金 | 5,487 | 5,487 |
| 利益剰余金 | 198,415 | 194,193 |
| 自己株式 | △83,168 | △80,904 |
| 株主資本合計 | 126,073 | 124,115 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| 為替換算調整勘定 | 1,390 | 1,356 |
| その他の包括利益累計額合計 | 1,390 | 1,356 |
| 新株予約権 | 1,300 | 1,444 |
| 非支配株主持分 | 20,731 | 23,521 |
| 純資産合計 | 149,495 | 150,437 |
| 負債純資産合計 | 168,045 | 166,323 |

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|------------------|---|---|
| 売上高 | 97,849 | 76,484 |
| 売上原価 | 53,558 | 36,946 |
| 売上総利益 | 44,290 | 39,537 |
| 販売費及び一般管理費 | 20,729 | 23,715 |
| 営業利益 | 23,560 | 15,822 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 803 | 1,388 |
| 為替差益 | 632 | — |
| その他 | 28 | 146 |
| 営業外収益合計 | 1,465 | 1,535 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 16 | 11 |
| 自己株式取得費用 | 1 | 11 |
| 為替差損 | — | 83 |
| その他 | 3 | 3 |
| 営業外費用合計 | 21 | 110 |
| 経常利益 | 25,004 | 17,247 |
| 特別損失 | | |
| 減損損失 | 3 | 65 |
| 投資有価証券評価損 | 74 | — |
| 特別損失合計 | 77 | 65 |
| 税金等調整前四半期純利益 | 24,926 | 17,181 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 6,511 | 5,050 |
| 法人税等調整額 | △13 | △370 |
| 法人税等合計 | 6,498 | 4,679 |
| 四半期純利益 | 18,427 | 12,501 |
| 非支配株主に帰属する四半期純利益 | 4,768 | 2,809 |
| 親会社株主に帰属する四半期純利益 | 13,659 | 9,691 |

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-----------------|---|---|
| 四半期純利益 | 18,427 | 12,501 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 2 | — |
| 為替換算調整勘定 | 2,254 | △56 |
| その他の包括利益合計 | 2,256 | △56 |
| 四半期包括利益 | 20,684 | 12,445 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る四半期包括利益 | 14,789 | 9,657 |
| 非支配株主に係る四半期包括利益 | 5,895 | 2,787 |

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

(自己株式の取得)

当社は、2024年2月14日及び2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、自己株式4,094,500株を取得いたしました。当該自己株式の取得により、当第3四半期連結累計期間において自己株式が9,862百万円増加しております。

(自己株式の消却)

当社は、2024年5月9日開催の取締役会決議に基づき、2024年6月28日付で、自己株式4,094,500株を消却いたしました。当該自己株式の消却により、当第3四半期連結累計期間において利益剰余金及び自己株式がそれぞれ12,111百万円減少しております。

この結果、当第3四半期連結会計期間末において利益剰余金が194,193百万円、自己株式が△80,904百万円となっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

II 当第3四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年9月30日)

当社グループは単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は次のとおりであります。

| | 前第3四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年9月30日) | 当第3四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年9月30日) |
|-------|---|---|
| 減価償却費 | 639百万円 | 692百万円 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

独立監査人の四半期連結財務諸表に対する期中レビュー報告書

2024年11月12日

ガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社

取締役会御中

PwC Japan有限責任監査法人

東京事務所

指定有限責任社員 公認会計士 林 壮一郎
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 村田 賢士
業務執行社員

監査人の結論

当監査法人は、四半期決算短信の「添付資料」に掲げられているガンホー・オンライン・エンターテイメント株式会社の2024年1月1日から2024年12月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2024年7月1日から2024年9月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2024年1月1日から2024年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について期中レビューを行った。

当監査法人が実施した期中レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が全ての重要な点において認められなかった。

監査人の結論の根拠

当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に準拠して期中レビューを行った。期中レビューの基準における当監査法人の責任は、「四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任」に記載されている。当監査法人は、我が国における職業倫理に関する規定に従って、会社及び連結子会社から独立しており、また、監査人としてのその他の倫理上の責任を果たしている。当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手すると判断している。

四半期連結財務諸表に対する経営者並びに監査役及び監査役会の責任

経営者の責任は、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して四半期連結財務諸表を作成することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

四半期連結財務諸表を作成するに当たり、経営者は、継続企業的前提に基づき四半期連結財務諸表を作成することが適切であるかどうかを評価し、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に基づいて継続企業に関する事項を開示する必要がある場合には当該事項を開示する責任がある。

監査役及び監査役会の責任は、財務報告プロセスの整備及び運用における取締役の職務の執行を監視することにある。

四半期連結財務諸表の期中レビューにおける監査人の責任

監査人の責任は、監査人が実施した期中レビューに基づいて、期中レビュー報告書において独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。

監査人は、我が国において一般に公正妥当と認められる期中レビューの基準に従って、期中レビューの過程を通じて、職業的専門家としての判断を行い、職業的懐疑心を保持して以下を実施する。

- 主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対する質問、分析的手続その他の期中レビュー手続を実施する。期中レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

- ・ 継続企業の前提に関する事項について、重要な疑義を生じさせるような事象又は状況に関して重要な不確実性が認められると判断した場合には、入手した証拠に基づき、四半期連結財務諸表において、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうか結論付ける。また、継続企業の前提に関する重要な不確実性が認められる場合は、期中レビュー報告書において四半期連結財務諸表の注記事項に注意を喚起すること、又は重要な不確実性に関する四半期連結財務諸表の注記事項が適切でない場合は、四半期連結財務諸表に対して限定付結論又は否定的結論を表明することが求められている。監査人の結論は、期中レビュー報告書日までに入手した証拠に基づいているが、将来の事象や状況により、企業は継続企業として存続できなくなる可能性がある。
- ・ 四半期連結財務諸表の表示及び注記事項が、株式会社東京証券取引所の四半期財務諸表等の作成基準第4条第1項及び我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表に関する会計基準（ただし、四半期財務諸表等の作成基準第4条第2項に定める記載の省略が適用されている。）に準拠して作成されていないと信じさせる事項が認められないかどうかを評価する。
- ・ 四半期連結財務諸表に対する結論表明の基礎となる、会社及び連結子会社の財務情報に関する証拠を入手する。監査人は、四半期連結財務諸表の期中レビューに関する指揮、監督及び査閲に関して責任がある。監査人は、単独で監査人の結論に対して責任を負う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、計画した期中レビューの範囲とその実施時期、期中レビュー上の重要な発見事項について報告を行う。
監査人は、監査役及び監査役会に対して、独立性についての我が国における職業倫理に関する規定を遵守したこと、並びに監査人の独立性に影響を与えると合理的に考えられる事項、及び阻害要因を除去するための対応策を講じている場合又は阻害要因を許容可能な水準にまで軽減するためのセーフガードを適用している場合はその内容について報告を行う。

利害関係

会社及び連結子会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記の期中レビュー報告書の原本は当社（四半期決算短信開示会社）が別途保管しております。

2. XBRLデータ及びHTMLデータは期中レビューの対象には含まれていません。